



**会長** 菅原 慶一  
**幹事** 小野寺 伸浩  
**会報** 高田 次雄 村上 武彦  
 森田 峯男  
**例会場** ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327  
**例会日** 毎週木曜日 12:30~13:30  
**事務所** ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

## 第2694回例会 2019. 5. 30 No.43

### 本日の出席率

・本日の出席率 100%

### ニコニコボックス

- ・山田正副会長 佐沼クラブのレジェンド布施孝之会員の円熟スピーチにご期待申し上げます。
- ・布施孝之会員 本日、スピーチの当番です。よろしくお付き合い下さい。
- ・村上武彦会員 布施孝之会員のスピーチに期待して。
- ・飯塚仁哉会員 話術の大家、布施孝之会員のお話興味深く拝聴しますよ。
- ・佐藤幸一会員 布施孝之会員のスピーチを楽しみにしております。
- ・江川元徳会員 今年度R I会長の「インスピレーションになろう」は奉仕のテーマ。もう5月末、早い！。INSPIRATIONの意味まだ完全理解していないのにそろそろ年度末。`時`の感じ……。
- ・八谷郁夫会員 布施孝之会員のスピーチ楽しみです。5月24日菅野多利雄R I 元理事の百寿の祝いに参加してきました。お元気で30分近いスピーチをされました。
- ・菅野幸一郎会員 布施孝之会員の重みのあるスピーチにご期待致します。
- ・佐藤静市会員 布施孝之会員の為になるスピーチ、楽しみにしております。
- ・富士原裕子会員 布施孝之会員の楽しいスピーチ、ご期待いたします。
- ・伊藤幸子会員 本日のスピーチに期待します。
- ・二階堂恭子会員 今日、大先輩の布施孝之会員のお話、何かを感じさせて下さると期待しています。
- ・小野寺伸浩幹事以下 本日のスピーチに期待して。  
 佐々木崇会員 佐藤敬喜会員 山田直志会員  
 遠藤光則会員 佐々木源悦会員 布施孝尚会員  
 岩淵栄市会員 杉田広仁会員 佐藤早智子会員  
 大畑好司会員  
 以上、ありがとうございました。

### 会長要件 山田正副会長

本日は菅原慶一会長がハンブルグ国際大会参加の為、会長要件を代行させていただきます。

先週の例会では国際大会参加者の壮行式を行い、5月26日(日)に高橋利光会員ご夫妻が先発隊として出発、会長以下7名は、本日よりこま高原駅7:50の新幹線で羽田空港から14:05発でフランクフルト経由ドイツ・ベルリンに21:25現地着で出発を致しました。5月31日~6月1日の2日間は現地観光と大会登録、翌6月2日は国際大会に参加し、7日間の全行程を終えて6月5日(水)14:55羽田空港帰着となっております。

120万人規模の国際大会への参加は、ロータリアン一人ひとりが多くの学びを体感することで、「活動意識が大いに高まる」と言われております。ロータリアンの分岐点とも言われており、帰国後の活躍に期待いたします。

テイラーの帰国報告会では、流暢な日本語での報告に、その成長が垣間見え、又、バイオリン演奏など謝意を持った報告会でした。彼女には滞在中の大学入試合格など相当の頑張りがありました。ご本人の努力も然ることながら、ホームステイのご家族皆さんや学校関係、その他お世話頂いた皆様によって得た貴重な学びと留学経験を是非とも活かし、帰国後の成長に繋げて頂きたいものです。

今月19日(日)には、次年度役員研修会(地区協議会)が仙台の聖和学園で開催され、次期役員15名で参加してまいりました。研修は各部門に分かれて行われ、私を含めて「いよいよ次年度のスタートだな!」との自覚が出来た貴重な時間でした。

帰路のバスは、佐沼ロータリークラブならではの賑やかな親睦タイムで盛り上がり、次年度への活気と心強さを持つての帰路となりました。皆さんと共に、山

田年度も佐沼クラブらしい活動に繋げて参りたく存じます。何卒ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

### 幹事報告 小野寺伸浩幹事

- ・ガバナー事務所より  
 米山記念奨学会・普通寄付金送金をお願い
- ・川崎大師RCより、会報が届く

### 各委員会報告

・ロータリー情報委員会(八谷郁夫委員長)  
 先週、規定審議会のことをお話しましたが、本日配布されました「ロータリーの友」左開きP16-19に規定審議会のことが載っております。特に我々に関係することは、ローターアクトが会員になる、人頭分担金が増える、メイクアップが1年間有効、クラブ構成の職業分類の制限を廃止ということです。この件は重要ですので熟読してご理解をお願いいたします。

### 今週のスピーチ

「トイレについて」考える 布施孝之会員  
 私はロータリーに入って今年42年目です。スピーチをした回数をさっと数えてみると、42年間で37~38回ありました。その都度苦勞しながらテーマを選んで色々ネタを掻き集めてお話をさせていただきましたけれども、今日のテーマは「トイレ」にしました。

一日は誰でも24時間ですが、その24時間の間に回数で利用する、あるいはお世話になる場所はトイレだと思います。時間で言えば寝室とか会社の事務所とか出張先とか色々ありますが、利用する頻度から言えばトイレが一番ですね。朝起きて夜寝るまで、自分のトイレだけでなく出張先とか新幹線の中とか公衆便所とか色々ありますけれども、少なくとも5~6回は利用するのではないかと。中には10回とか15回という人もいます。

「トイレ」というのは、今は日本語化していますが、そもそもは便所なんですね。便所の呼称、呼び名は(かたがや)厠、(ひらか)憚り、手洗い、洗面所、化粧室、不浄、雪隠、手水、東司、トイレ(TOILET)、WC(Water Closet)、lavatory、最近では百貨店や公園で人形の絵で表示されております。

※厠:昔は便所を作る時に母屋と離れた場所の水の流れの良い所を作って利用していた名残。

東司:お寺の便所のことを言う。禅宗の寺の場合トイレと言うふうには日常的に使うようになったのは何年位前なんだろうかね。少なくとも私たち子供の頃はトイレという言葉はあまり使っていませんでした。今は、会合等でちょっと中座する時「便所に行きます」とは言わないで「ちょっとトイレ」、あるいは会議等を中断するとき「トイレ休憩」と言ってもあまり不自然ではなく汚いという感じはしません。

私の繙いた「第三文明」という雑誌の中に「近年環境問題が世界共通の重要なテーマになっています。そうした流れの中で、例えば江戸では近郊農村との間にし尿の取引が成立し、市場が形成されてきました。近

郊の農家が天秤棒を担いで家々を廻り、し尿を汲み取って現金や野菜を交換します。汲み取った尿は下肥として使われ、再び作物を育てます。江戸の町人にとってもし尿が商品になるため、長屋の大屋らが協同便所を設置して、取引で収入を得るようになっていた」という習慣があったようです。

和式トイレから洋式トイレになってきました。私が洋式トイレを最初に体験したのは、昭和34年東京から戻ってきて、仙台の開業医の先生の所に勤めた時に、仙台の川内にあった東北大学教養学部の校舎を使っていました。その時に初めて目にして使ったのが洋式トイレでした。洋式トイレに最初に出合った人は、使い方がわからないため失敗をする人がいたようです。

今、中国ではトイレ革命と言ってトイレの洋式化を進めております。ウォシュレットの生産が盛んで、数社が力を注いで売り出しているようですが、ほとんどが日本製の洋式トイレのパクリです。日本のトイレは、「世界が驚く日本の発明」のNo.1に上がっております。又、先日テレビで古代ローマの公衆便所の紹介をしていました。段差があつて腰かけられ、穴が等間隔にあいており、穴の中には常に水の流れがあつて、その点ではある程度清潔で臭いもあまりなかったようです。ただ男女同じ場所でした。しかし、男女とも衣装の長さが男女ともに足首まであり、あまり問題なかったようであります。

学校のトイレは、5Kと言って汚い、臭い、暗い、壊れている、怖いKをあげています。低学年の子供たちの中には一人でトイレに行くことの出来ない子が何人かいるようです。

作詞家星野哲郎のエピソードを紹介したいと思います。昭和30年過ぎ、東京歌舞伎町の周辺をほろ酔い散策している時にトイレに行きたくなり、尿意をもよおして近くにあったバラック風のトイレに行くとガタガタと力を入れても開かないんですね。そうしたら近くにいた屋台のおやじさんが見かねてやって来て「押しでもだめなら引いて見なよ」の一言が助けになって思い切り引っ張ったら開いたということで、そのおやじの一言が印象に残って家に帰ってから作詞したのが「押ししてみな、押しでもだめなら引いてみな、それが男の切り札さ」その歌謡曲の作るきっかけとなりました。水前寺清子の「365歩のマーチ」と「押しでもだめなら引いてみな」の精神は全く同じなんですね。人生は押すだけではだめなんです。引くのも大事、そして次なるエネルギー、知恵を模索しながら更にまた一歩。「365歩のマーチ」もそうですね。一日一歩、三日で三歩進んだら二歩下がる、下がることは、そのままあきらめることではなく、そこで又充電して更に一歩ずつ進めば常に前へ前へと進む、そういった人生に対する応援歌なんですね。

夜トイレに行った時、窓からきれいなお月さんの明かりが光々差し込できました。ほんとうにきれいなお月さんの明かりを眺めながら、一句。

「トイレの窓からお月さん見れば  
 これがほんとうのウンの月」